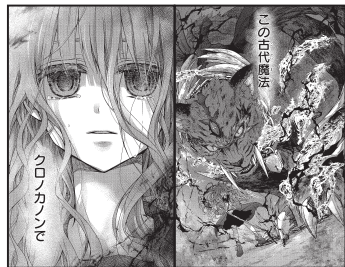


先生のお気に入り♡

達人自ら「この演出はうまくいった!」という、お気に入りのシーンをご紹介します!

演出がばっちりハマったシーン

「描いていたときは、最高に気分がノってました(笑)」



▲地味な少女が古代魔法を解放し約変する、圧巻のクライマックス。ざらついた目の演出やバサついた髪の毛の動きで、恐怖と凄みを演出しています。「謎めいた導入を回収するラストにしたいと思っていました。気分はノってたのですが、召喚獣を描くのが大変で…。私、モフモフが好きなので、気を抜いたら可愛いヒョウになってしまいました(笑)」

一番のお気に入りシーン

「キャラが動いたなと思えたシーンです」



▲天然っぽい刘乃とSっぽい十魔との掛け合いが可愛い。「キャラの日常が見えると、キャラが動きだしたと感じがします」と先生。こういうホッとするシーンがあることで、見せ場の緊迫したシーンが生きてきますね。

第11回(13号)は

デビューへの近道

池山田剛先生
お楽しみに!!!

前作「チョコレートヴァンパイア」のヒロイン・千代は…



クールで強さが魅力の千代はヒーローのように登場させて、そのかっこよさを強調。「キャラに合った演出が重要」と先生。

ヒロイン



「ヒロインは可愛さを強調したいので、1コマ目からアップで登場させます。感情移入してもらいやすいです」。



「ヒーローは、行動を伴う引きのコマから入ることが多いです。タメを作ることで期待感を煽れるのと、行動を見せることでヒーローのかっこよさを表現できます」

ヒーロー

その2 キャラに合った初登場シーンを演出する

キャラを魅力的に見せる演出は、読者が話を読み進めるかどろかに大きく影響します。特によみきりや連載第1回の初登場は重要です。先生は「キャラによって意識するポイントが変わる」んだとか。そのポイントとは…?

その3 効果トーンで状況を演出する

おどろおどろしいトーン



不穏な感じを表現

キラキラトーン



期待感を表現

トーンを貼らないことで時を止めたように見せる

「トーンは空気のようなものなので、トーンなしのコマを突然入れると時が止まったような感覚を与えることができます」。前後のコマの演出がしっかりできてこそそのスゴ技です!

「効果トーンは空気です」

達人のインプット術は?

素晴らしい演出は一朝一夕でできるものではありません。くまがい先生でも「いろんなまんがを読んで、日々研究している」んだとか。「単行本を1冊読むのに1時間くらいかけています。演出、展開、全てを頭にたたきこめるよう、目に刷り込むようにして読みます。ただ読むだけではダメですね。特にまんがが家を目指す人は、描こうとする作品と似たテーマで売れている作品を徹底的に読みこむのをオススメします」。楽しんで読むだけでは研究に非ず。効果的なインプットを!

まんが家直伝! 達人の技で、まんががどんどん上手くなる!

Sho-Comi
まんが
アカデミア

達人に聞け

まんがが上手になりたい! でも、作画にストーリーに演出…いきなり全てをアップデートするのは難しい。だったら、まずはひとつ自分の「武器」を手に入れよう! そのためのテクニックを、その道の達人であるまんが家先生に直撃インタビュー。月イチだけのスペシャル連載です!!

第10回 演出の達人

くまがい杏子先生

魔法陣クロノカノン



誰もが魔法を使える時代。魔法の使えない刘乃、強い魔法を持つ一軍の能力者・十魔に誘われ、魔法学校に入学する。しかし入学早々、敵の思わぬ攻撃に遭った刘乃は、十魔の危機に恐るべき力を解放し…。

その1 画面にメリハリを生む「光」と「影」の演出法

影 視線を誘導する方法



先生曰く「視線誘導のための『影』もある」んだそう。「上のコマでは下部に大きく影を入れていますが、刘乃の姿を目立たせたいという役割もあります」と先生が言うように、あえて見せたい対象以外の場所に影を作り、読者の視線を誘導しています。まさに達人!

光 明るさを強調するための光の増やし方



学校を見つめる主人公・刘乃の絵も、トーンで光が当たっているような演出がされています。「刘乃の期待感を表現するためにも、このページはしっかり明るくしています」。

くまがい先生といえば高密度の作画。それでも画面が暗くなりすぎないのは、光と影の演出、がなされているからです。「明暗の差をしっかりと出すため、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなるよう心掛けています」と先生。また、影に関しては「読者の視線誘導のために入れることも多い」んだとか。光と影を自在に操る達人の技、ぜひ習得を。